

～新南部清掃工場の特徴を工事進捗と合わせて紹介します～

## 新工場トピックス No.5 (焼却炉・ボイラー編)

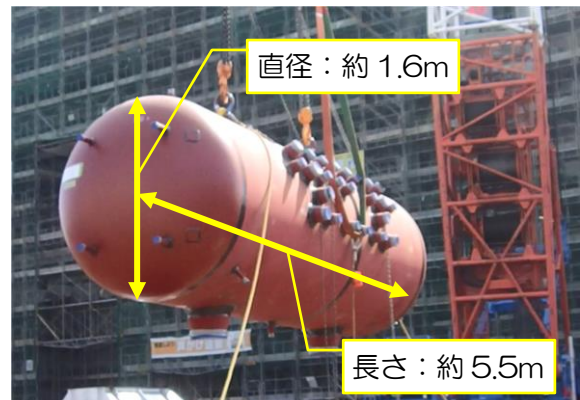
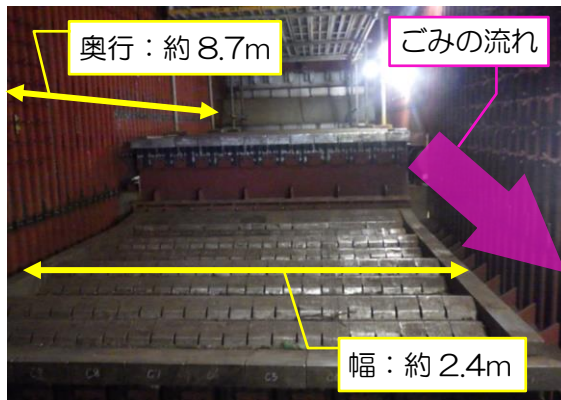


### ごみを燃やす焼却炉と熱を有効利用するボイラー


令和2年11月現在、新工場は外壁パネルが設置され、建物全体の大きさがわかるようになりました。(右写真参照)



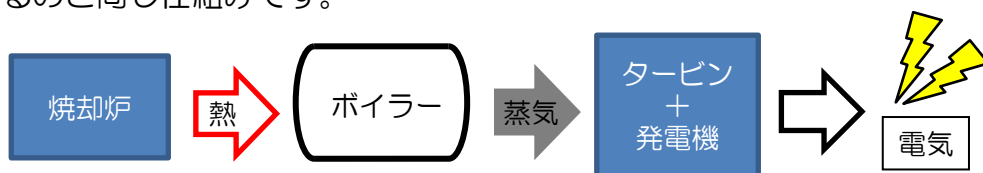
さらに、焼却炉 (下左写真参照) や ボイラー (下右写真参照) が搬入され、順次組み立てられています。



ボイラーは、水を加熱して高温高圧の蒸気を作る機器です。  
「やかん」をイメージしてみてください。  
水を入れた「やかん」に火をかけると、沸騰してお湯と蒸気が出れます。



焼却炉では、ごみを約 900℃～1,000℃の温度で燃やすため、熱が発生します。その熱をそのまま捨てるのはもったいないので、新工場では、ボイラーで高温高圧 (420℃・4.7MPa) の蒸気を作ります。そして、その蒸気をタービンに送って発電機にて電気を作ります。火力発電所で化石燃料を燃やして電気を作るのと同じ仕組みです。



このように、新工場では、焼却炉から出る熱から電気を作ることで、有効利用を図っています。これは、熱エネルギーを電気エネルギーに変換することで、化石燃料の消費を抑えることができるため、地球温暖化防止にも役立っています。



工事進捗動画も  
ご覧ください！

<https://www.youtube.com/watch?v=Tih6BgnFKI4>